

◎ A高の件復 ← 奇りつ佐い  
◎ B高の件復 ← 奇りつ佐い

千葉県土地家屋調査士会 様  
勉強会

将来設計と民間の生命保険会社の役割

2018年6月29日

## プロフィール

水上 優(みずかみ ゆう)

- 昭和59年生まれ、神奈川県鎌倉市出身。
- 2007年一橋大学法学部卒業後、(株)三菱東京UFJ銀行  
(現(株)三菱UFJ銀行)に入行、法人(中堅・中小企業～  
大企業)向けの融資取引を8年間経験。
- 2016年より、新生銀行グループの投資銀行部門にて、  
中堅・中小企業の事業承継やM&Aに2年間携わる。
- 2018年より、プルデンシャル生命保険(株)千葉支社にて  
ライフプランナーとして働いている。
- 趣味: 料理、ワイン、日本酒、ゴルフ
- モットー: 「ご縁とご恩を大切にする」

# はじめに

## 背景

- 厚生労働省の調査によると、総人口が減少する中で、高齢化率は上昇を続け、2036年には国民の3人に1人が65歳以上の高齢者に、2065年には4人に1人が75歳以上になると推計されている。
- 男女ともに平均寿命が高くなっており、「人生100年時代」という考え方が浸透しつつある。
- 一方で、公的年金の削減、受給開始年齢の繰り下げなどが想定されており、国からの社会保障制度だけでなく、各自における「将来に向けた準備」が不可欠であるといえる。

## 本日のテーマ

- 将来に向けた準備として、どのようなものが必要であるのか、課題認識する。
- 国の社会保障制度の内容を理解する。
- 各自における「将来に向けた準備」がどのくらい必要になるのかを理解する。
- 足りない部分を補うものとしての、民間の生命保険会社の役割をご紹介します。

# 将来に向けて、どのような準備が必要になるのか

「人生100年時代」を生き抜くために……

将来に向けた準備として考えるべき点

- ① 老後に必要な生活資金 いくじ?
- 病気になるリスク いらいら 2500万
- (高度)障がい状態になるリスク あと 30年
- 働けなくなるリスク …「健康寿命」は男性72.14歳、女性74.79歳
- 介護状態になるリスク
- 認知症になるリスク…5人に1人が認知症に?  
65+
- 長生きすぎて、貯金が底を尽きそうになるリスク  
4-5

# 老後に必要な生活資金

最低必要な生活費(月額)

単位:円

	支出額	支出割合
食費	63,884	27.5%
居住費	13,481	5.8%
光熱・水道	19,231	8.3%
家具・家事用品	9,302	4.0%
被服及び履物	6,457	2.8%
保健医療	15,698	6.8%
交通・通信	26,211	11.3%
教養娯楽	24,554	10.6%
その他消費支出	26,229	11.3%
税金・社会保険料	27,493	11.8%
<b>合計</b>	<b>232,540</b>	<b>100.0%</b>

2017年度家計調査より作成

ゆとりの生活費(月額)

単位:円

	支出額	支出割合
旅行やレジャー	30,000	22.4%
趣味や教養	26,000	19.4%
身内との付き合い	24,000	17.9%
日常生活費の充実	23,000	17.2%
耐久消費財の買い替え	12,000	9.0%
子供や孫への資金援助	9,000	6.7%
隣人や友人との付き合い	8,000	6.0%
とりあえず貯金	2,000	1.5%
<b>合計</b>	<b>134,000</b>	<b>100.0%</b>

2017年度家計調査より作成

高い?

ゆとりある老後に必要な生活資金は約37万円(月額)

# 老後に必要な生活資金

65歳から95歳まで30年間生きると仮定した場合

30年間の支出総額  
・年間生活費 × 30年間

—

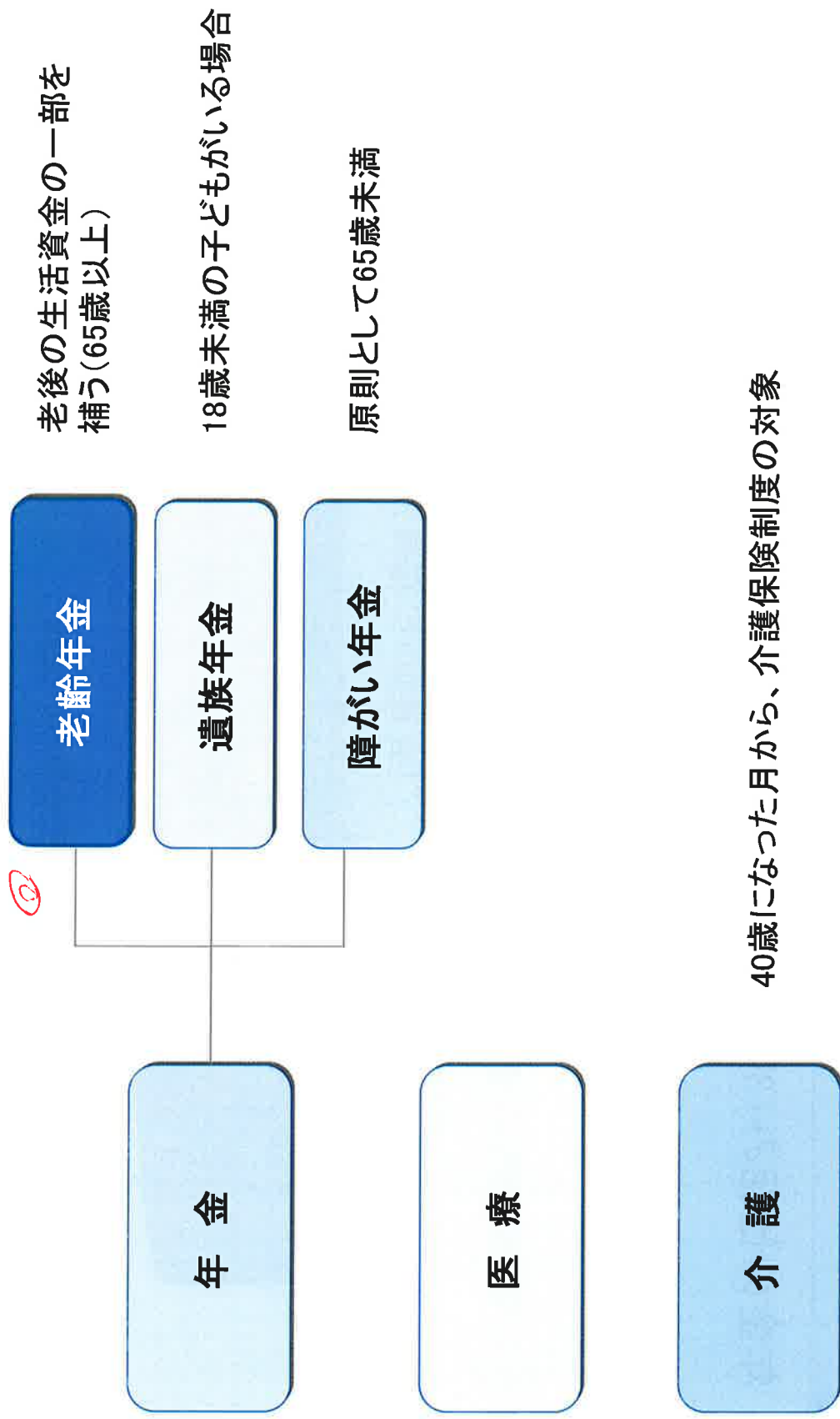
30年間の収入総額  
・公的年金  
・私的年金  
・収入

=

準備しておきたい  
必要額

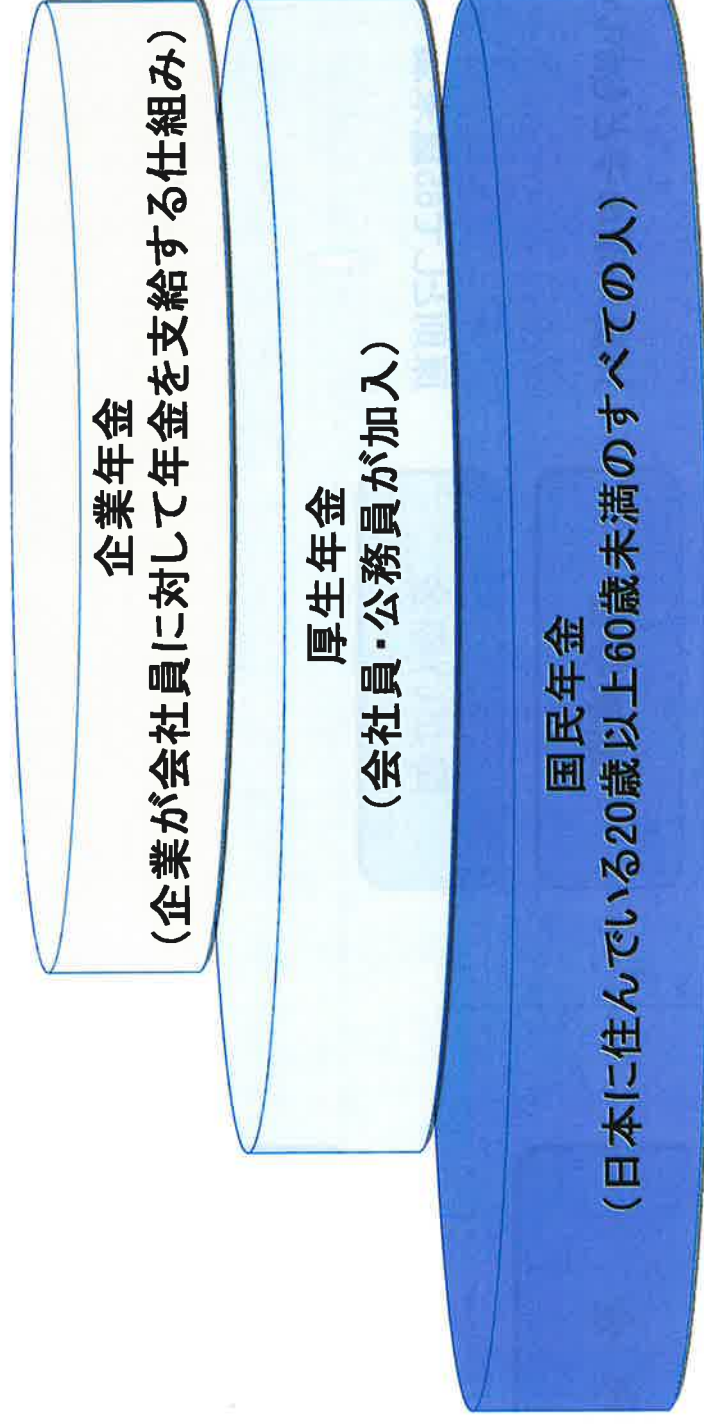
?

# 日本の社会保障制度における3つの柱



## 年金の仕組み

### 年金の仕組み(3階建て)



- ▶ 国民年金のみ加入の場合は1階部分のみの支給
- ▶ 厚生年金に加入していれば、1階と2階部分を支給
- ▶ 企業年金に加入していれば、1階と2階部分に加え、3階部分の支給がある

## 年金の受給額(例)



- ▶ 国民年金のみ加入の場合は1階部分のみの支給・・・ 年額779,300円(月額64,941円)
- ▶ 厚生年金に加入していれば、1階と2階部分をあわせて支給  
例) 年収600万円の方の場合 年額 210\*万円(月額175,000円)  
年収1000万円の方の場合 年額 300\*万円(月額250,000円)

\*概算になります

## 年金の仕組みと受給額(自営業のケース)



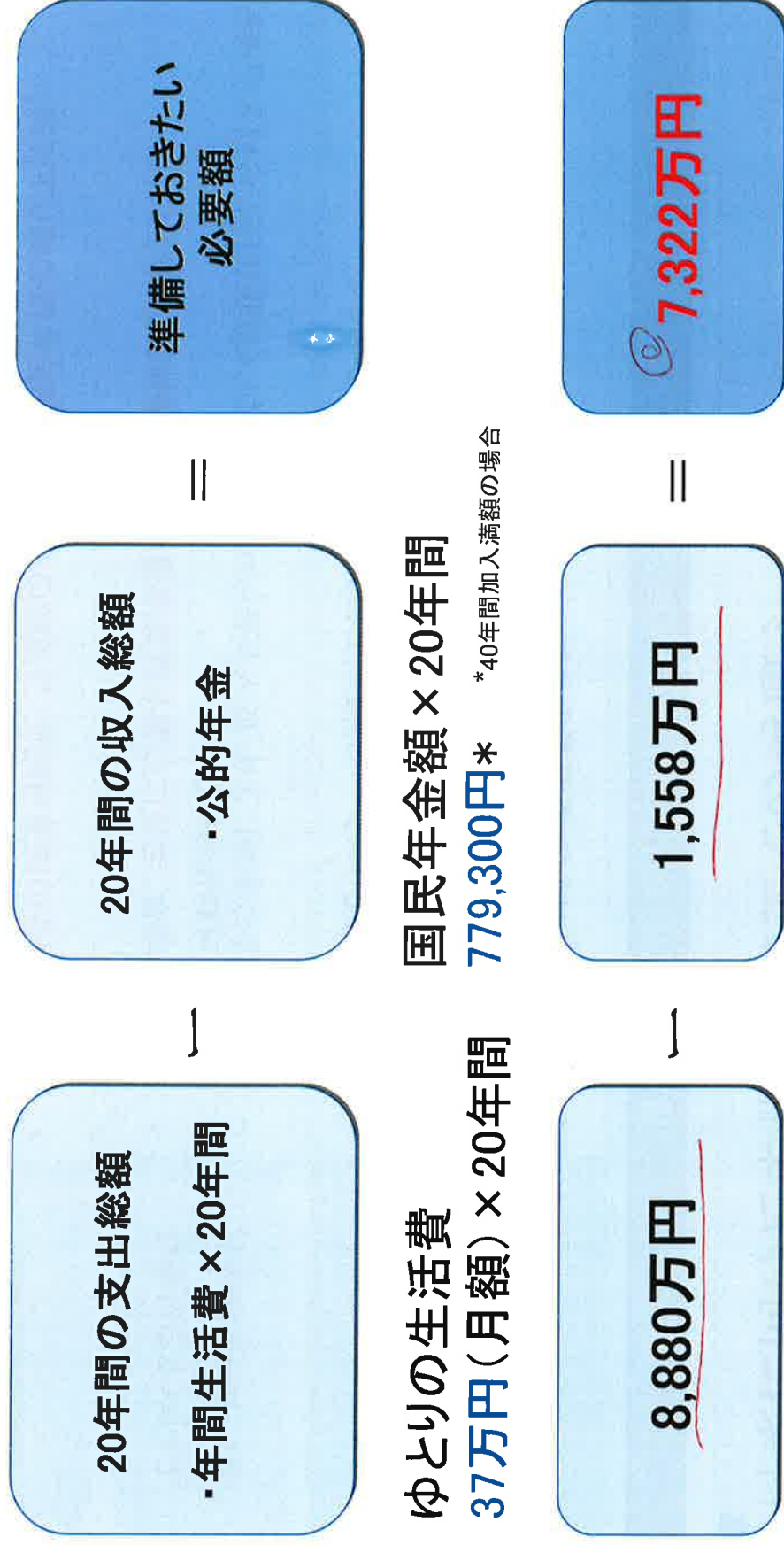
- 国民年金のみ加入の場合は1階部分のみの支給・・・ 年額779,300円(月額64,941円)
- 国民年金への上乗せ部分として、任意加入で国民年金基金への加入も出来る  
加入は口数制で、年金額や給付の型は選択できる(何口加入するかで受け取る年金額も決定)  
例) 35歳までに加入した場合:

1口目: 年金額 2万円 2口目以降: 年金額1万円  
例えば、5口加入の場合、 $2万円 \times 1口 + 1万円 \times 4口 = 6万円$

\*国民年金基金連合会HPより

## ケーススタディ(自営業の場合)

現役引退後、75歳から95歳まで20年間生きると仮定した場合



# 将来に向けた準備を行う上での考慮すべき点

確実な将来設計を行うために考慮しておくべき点とは？

- ▶ 病気になるリスク(医療費の負担)
- ▶ (高度)障がい状態になるリスク(病気や不慮の事故などによる)
- ▶ 働けなくなるリスク(病気や不慮の事故によるもの他、健康寿命も勘案)
- ▶ 介護状態になるリスク(介護費の負担) ← 毎月 8万円
- ▶ 認知症になるリスク・・・65歳以上の5人に1人が認知症に？

老後に必要な資金以外に  
考慮すべき準備

- ▶ 病気や不慮の事故により、収入が得られなくなる、もしくは現状ほどの収入が得られなくなる可能性もある
- ▶ そうなった場合、**老後に必要な資金準備が途中で頓挫してしまふリスク**

途中で資金準備が  
できなくなる可能性

- ▶ **公的年金制度の変更可能性(受給額の削減、受給開始年齢の繰り下げ等)**
- ▶ **将来に向けたインフレリスク(物価の上昇により、準備すべき資金が増加?)**

経済環境の変化

- ▶ 「**人生100年時代**」と言われる中で、貯金額を切り崩していく**精神的ストレス**
- ▶ 毎月決まった金額を、一生涯受け取れる「**自分年金**」の仕組づくりの検討

精神的なもの

## 民間の生命保険会社の役割

民間の生命保険会社は、社会保障制度ではカバーしきれない部分を補う役割を担っています

老後に必要な資金以外に  
考慮すべき準備

- 老後の資金準備以外にも、医療、介護、高度障がい、就労不能時に対する備え、**社会保障制度でカバーしきれない「お金の問題」をカバーすることが可能**

途中で資金準備が  
頓挫する可能性にも対応

- **保険料の払込みの免除特約等を活用することで、確実な資金準備が可能**  
(預金や他の資産運用、国民年金基金にもない機能)

環境の変化に強い

- 公的年金に頼ることなく、ゆたかな老後を送るための資金準備が可能
- **予定利率が約束されているため、確実な資金準備が可能**

自分年金の  
仕組づくり

- **毎月決まった金額を、一生涯受け取れる「自分年金」の仕組づくり**
- **「貯金」を切り崩していく精神的ストレスを回避することが可能**

## ご参考：プルデンシャルの強み

### オーダーメイドによる保険設計

- 万への備え、将来への準備をお考えの方に対し、「オーダーメイド」で保険をお作りさせて頂いています
- たった一度きりの人生で、年齢、職業、家族構成、価値観、夢などが同じ人はいません
- お一人お一人の「想い」をお聞かせ頂き、またその方が既に準備されている内容(社会保障制度も含めて)を勘案した上でオーダーメイドで保険をお作りさせて頂いています

### ライフプランナーによる丁寧なメンテナンス

- 保険は加入することが大切なのではなく、「保険金をお届けすること」が大切と考えています
- 想いのこもった保険を最後にお届けするまで、私たちライフプランナーが様々なメンテナンスをさせて頂きます
- 増やすだけが保険ではありません。ライフステージにあわせた保険の見直しを行わせて頂きます

### 【さいごに】

本日はご清聴頂きまして、本当にありがとうございます。本日はご清聴頂きまして、本当にありがとうございました。銀行で10年間、法人様向けの融資や投資経験を積んできましたが、様々な「ご縁」や「想い」があり、生命保険業界へ飛び込みました。生々しい方になります。単なる「保険屋さん」にとどまらず、これまでの経験や頂いた「ご縁」をもとに、法人の事業承継・M&A、個人の相続問題、会社の資金調達、販売支援等、「保険以外」にもお役にたてるような、お客さまから重宝され、かわいがって頂けるようなライフプランナーになるべく、日々精進しております。ご縁を頂けるようでしたら、嬉しく存じます。